

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

Purpose・Vision

Purpose、Visionの実現を目指し、事業間の連携強化と継続的な収益力強化を図る

EBITDA
115億円ROE
8%以上販売数量
3,900千トン総投資額
600億円

② 中長期の経営戦略

1. 製造体制の刷新・増強

既存工場の老朽化対応と10年後20年後を見据えた生産体制整備

2. 環境対応製品開発

メタン低減製品、無魚粉飼料、高水温対策飼料等の開発・販売推進

3. 原料リスク対策

産地多様化、代替原料開発、取引先関係強化で安定供給と価格抑制を実現

4. 事業間連携強化

食のバリューチェーン構築で畜産飼料と食品事業のシナジーを追求

③ 対処すべき課題

① 原料価格高騰への対応

- ・ とうもろこし等輸入原料の地政学的リスク対策
- ・ 円安による飼料価格安定基金負担金増加への対応
- ・ 魚粉など主要原料の高止まり価格対策

② 供給不安への対応

- ・ 気候変動に伴う飼料原料の供給不安解消
- ・ 畜産飼料需要減少や水産給餌制限への対応
- ・ 代替原料活用と枯渇リスク低減

③ 生産体制の刷新

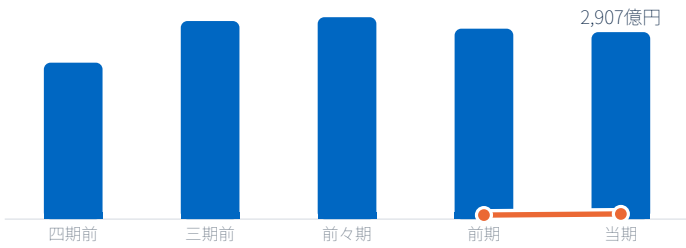
- ・ 既存工場老朽化への対応
- ・ IoT導入による効率・生産性改善
- ・ 食品事業の老朽化設備更新と衛生対応強化

面接で使えるポイント

- ・ 中期経営計画2026で10年間の土台づくりに600億円規模の投資を実行し、基礎収益力向上を目指している
- ・ メタン低減型飼料や無魚粉飼料など環境対応製品開発で、畜水産業の持続可能性に貢献する
- ・ 食のバリューチェーン構築を通じ、配合飼料から食品まで一貫した付加価値創造を追求している

証券コード 2060

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
2,907億円営業利益率
2.8%財務健康度
35点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 55.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収
772万円

食料品内 31位/120社

平均年齢
40.1歳

食料品内 86位/121社

平均勤続
15.9年

食料品内 53位/121社

女性管理職
2.8%

食料品内 98位/106社

男性育休
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

